

5月に開催される 完成見学会の設計士にインタビューしてみました



外観パース イメージ



ゾーニング図面

Q1: こんな素敵なお家を設計できる秘訣はなんですか？

秘訣かどうかわからないですが…
ヒアリングにてお客様から伺ったご要望を汲みとりながら実際に暮らしている様子をイメージする事ですかね…
まず図面上を動いてみて使いつらい動線はないか、こうした方が生活が楽しくなるのではないかなど一つ一つ確認して考える事かなと思います。

Q2: 設計士からみたお客様のこだわりポイントは何ですか？

建物内のゾーン分け。パブリックゾーン（お客様が来る場所）、中間ゾーン、プライベートゾーン（家族のみ）と家の中で分けて考えました。
また1番お施主様が悩まれたのが氷回りです。悩んだ分、とても使いやすい間取りになったと思います。家事動線の着替えて、洗って、干して、畳んで、しまう、がスムーズにできます！

Q3: 見学会のお家の設計士自身のおすすめポイントはどこですか？

LDKの天井です。リビング部分はすっきりとした斜天井に。ダイニングキッチン部分は梁を見せつつかっこよく。
北側採光なので一日中柔らかい光がLDKに入るようにしました。

Q4: 設計する時に気を付けているポイントはありますか？

ごちゃつとならないように。できるだけシンプルに使いやすく。そしてかっこよく。

Q5: 設計士から現場監督まで担当していると聞きました！自分でプランし施工することはどうですか？

自分でイメージしているものを直接大工さんや業者さんに伝えられるのが良い事かなと思います

Q6: 今までの質問とは逆に今回大変だったポイントは？

造作家具がたっぷりあるので家具の職人さん達にしっかり内容をお伝えするのが大変でした。大変だった分かっこよく仕上がってくるのが楽しみです！

ありがとうございました。

普段はなかなかお聞きになれない設計士の声をお届けしました



現場写真（北側採光）



現場写真（ハイドア）



星野

ん〜〜
こっちの方が
いいかな・・・

編集後記 テーマ・・・GWに行きたいところは？



お客様係 平田マリアルシア

水鏡館で「アクアパーク川川」に行きたいですね！
イベント開催中「花と光につつまれた海の世界」を見たいです。
夜のショーもきつと素敵☆



お客様係 高橋 俊彦

かな 狸のほりまつりとその近くの上野スカイブリッジに家族で行きたいです！
五月の空に勢よく泳ぐこいのほりと天空回廊。最高に楽しめると思います！(^^)



お客様係 福地 高昌

以前一度訪れた事のある蒲上のピラミッドフランスのモンサンミッシェルに行きたいです！ 夢ですがA A 圧倒的な存在感の姿が忘れられません。



お客様係 中村 富一

世界自然遺産に登録された。鹿児島県の屋久島です。樹齢数千年のサスギや白砂の美しい海岸や苔を見に行きたい!!



相談役 高橋 保

伊勢高道の桜祭りです！今年はやや遅くして先日行ってきました。赤みを帯びた可愛らしい花びらの「タカトオコヒガンザクラ」日本に生まれて良かったと感じました！



Instagram



YouTube



LINE



公式アカウント

● 本社/沼田市発知新田町759-1 TEL:0278-50-4118
 前橋支店/デザインセンター/前橋市鶴光路265-1 ☎0120-82-0601
 高崎展示場/上毛新聞マイホームプラザ高崎会場内 TEL:027-388-0111
 宿志型モデルハウス吉岡の家/北群馬郡吉岡町大久保1424-3 TEL:0279-54-4118
 みやこの家/TBSハウジング伊勢崎会場内 TEL:0270-61-5907
 「森の国便り」のバックナンバーはHPにて毎月公開中

ぐまの木の家

日本一帰りたくなる普通の家



株式会社 斉藤林業



2023年5月号
vol.112
自然豊かな群馬で家づくりをいそいそと
斉藤林業スタッフが
森の国の出来事をお届けする情報誌

「お客様大感謝祭」4年ぶりに開催!! 2023.7.29(土)・30(日)

皆様、お待たせ致しました!! 今年の夏は斉藤林業「お客様大感謝祭」を開催致します。
2019年を最後に、コロナ禍の影響で開催を3年間断念していましたが、今年は元気に開催!!
以前の規模に近い盛りだくさんの内容や新しい試みでスタッフ一同皆様をお待ちしています!
3年間の間にお子さんたちも、学年が進み大きく成長したと思います。
真夏の太陽のもと、楽しいイベントを楽しみに来てください!(^^)!

相談役
高橋 保

「まつかみプール」
担当の高橋です!!
今年も張り切って作ります!



掲載写真は2019年「第10回感謝祭」の思い出の写真です。
※コロナウィルスの感染状況により開催が変更になる場合もありますのでご了承ください。

入社1年経った3人がどう変わったのか!?

今回は去年4月に入社した田島・上野・関口に入社して1年が経ちましたので、
①所属部署②仕事内容③1年経っての感想インタビューしました!



お客様係
中村 富一



田島 雅隆(たじま まさたか)

- ①営業部
- ②資料請求や展示場・イベントへご来場されたお客様へ「斉藤林業の家づくり」のご案内をしています。お客様と一番最初に知り合い、家づくりを任せていただける大事な仕事だと思っています!
- ③最初は先輩方と話すだけでもおっかなびっくりでしたが、今は少し肩の力も抜け、より自然体でお客様とお話できていますはず!!
ただ実は、、、今でも電話は少し苦手です(笑)



上野 沙季(うえの さき)

- ①建築部 設計
- ②だんだんと図面を描いたり様々な申請を行うようになりました。わからないことも多々ありますが、これからは日々覚えながら業務をこなしていきたいです。
- ③何度か他のスタッフのお打合せに同席させていただくことがあったのですが、お客様と何度かお会いするうちにお客様の方から「上野さんはこれどう思う?」と聞いていただくことや名前を呼んでくださることがありました。とても嬉しかったと同時に、「私も一緒に家づくりをさせていただいているのだな」と今後の励みにもなりました。これからは頑張っていきたいと思っています!



関口 和希(せきぐち かずき)

- ①建築部 現場監督
- ②入社してすぐは様々な現場に同行し、部材の搬入や現場の掃除、写真撮影などをしました。並行して、材料発注のための拾いや工場との家具の打ち合わせなどをさせて頂き、それらを学んでいく中で、計画性や臨機応変な対応が大切だと思いました。まずは出来ることを効率良く行っていこうと思いました。
- ③専門用語だとお客様には伝わりにくい場面があるので、これ際に説明できるように自分がかかりがっかりしていないといけなくということを学びました。これからは、お客様が分かりやすいように別のものなどで例えて話していけるようにになりたいと思っています!

もくもく館

毎月第3日曜日、工場見学会と同時に開催される「木工教室」は、お客様だけのご自宅に合った家具作りです。板選びから始まり、デザイン・製作まで楽しむことができます。ホームオーナー様にご参加いただいている弊社ならではの大好評のイベントです。



2組のお客様にご参加頂きました。



本社工場スタッフ

3月の木工教室



リビングに置く**堀こたつのテーブル**を作成しました。
作業は分かりやすく教えて頂いたのでもとが出来上がりました!!
趣のあるお気に入りのテーブルになると嬉しいです。
ありがとうございました。
吉岡町 笹沢様



木工教室に参加して、自分たちの手でこれから使う**ダイニングテーブル**を作ることができました。
喜びと達成感や、より大切にしようという気持ちと使う楽しさがとても強いです!
慣れない機械や作業をととても丁寧に教えて頂き、子どもともたくさん遊んで頂き大変感謝です。
前橋市 椎名様

新・テーマ連載記事

ググッと!ぐんまの名建築

スタッフイチ推し、ケンチクのウンチクとグルメ探訪記 vol.5



お客様係
平田マリアリシア



お客様係
福地 高昌

高崎市の文化のシンボルとして輝き続けている群馬音楽センターに行ってきました!二人とも学生時代に一度訪れた場所です。懐かしい気持ちと共にモダニズム建築の素晴らしさを改めて感じることができました。

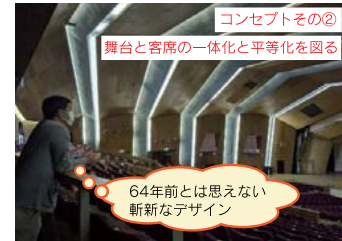


コンセプトその① 無駄のない長寿命建築とする

群馬音楽センターは日本の近代建築に大きな影響を与えた巨匠アントニン・レーモンド氏が設計を手がけました。この建築は、柱や梁ではなく、少ないコンクリートで大きな空間を覆うことのできる折板構造というまるで折り紙のようにコンクリートの板を折り曲げたような構造を特色としています。

内観

内部は地下1階・地上2階で構成されています。美しく明るい開放感のあるロビーに円形に抜かれた水玉模様の螺旋階段はコンクリートで柔らかな曲線を表現したデザインとなっています。ホール内では客席との一体感が感じられ、天井こそ高くはないが、広々とした空間です。全体の折板構造の5角形のコンクリートの構造体が露出していますが、音の反響を押しやるため、ペニヤ板が張られています。コンクリートと木材との隙間に間接照明が埋め込まれていて、このホールの形を強調しダイナミックなデザインになっています。

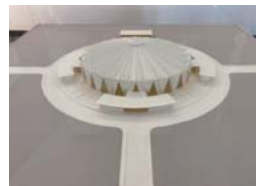


コンセプトその② 舞台と客席の一体化と平等化を図る

64年前とは思えない斬新なデザイン

レーモンドギャラリー

音楽センター内にあるレーモンドギャラリーでは音楽センターの提案模型や当時の工事のお写真が飾られています。模型をじっくり見て、第1提案と全然違う形であらゆる観点から計画されたことがよく分かりました。



第1案模型 (アリーナ型)

全体が円形で中央にステージを設けた折板三十六角形の建物です。歌舞伎等が上演できないことから却下されたそうです。



第2案模型 (シューボックス型)

9つの緩やかなアーチが並んで全体を覆う劇場、舞台上にフライタワーを設けた建物です。ステージのフライタワーが市役所望楼より高くなり、城址の景観をそこねることから却下されたそうです。



最終案模型 (プロセニウム・扇型)

2つの建築案から2年後に作られた最終建築案。この案は銀座にあった歌舞伎座の平面図の上に、レーモンドが扇型の図をラフに描いたことから始まったそうです。

建築
工期

- 着工1959年(昭和34年)10月
- 竣工1961年(昭和36年)7月
- 開館1961年(昭和36年)7月18日

竹の足場を見て、その技術力の高さに驚かされ、高い所が得意ではない私は現在使われている鋼製足場で良かったなあとちょっと思っていました。

